



# 松韻会会報

vol.5

発行: 松韻会事務局  
〒989-3128  
宮城県仙台市青葉区愛子  
中央4丁目16-1  
FAX: 022-391-6144  
E-mail: jimukyoku-h  
@snct-dosokai.jp  
印刷: 株式会社アクトジャパン

## 平成25年度松韻会総会報告

松韻会副会長 門馬敏仁  
(情報工学科7期)

平成25年度松韻会総会・関東支部総会は、6月8日(土)に東京プリンスホテルにて開催されました。今次総会は仙台高専同窓会が統合して初めて東京開催であり、関東支部の皆様のご協力のもと、多数の会員に出席いただき無事に開催されました。



## 会長挨拶



松韻会会長  
大江章  
(電波通信学科3期)

日本列島、ゲリラ豪雨や猛暑続きで各地に被害が発生しておりますが松韻会の皆様には如何お過ごしでしょうか? この会報が届く頃には、秋麗の候となることを願っています。さて去る6月8日(土)、東京プリンスホテルにて平成25年度仙台高専同窓会総会が開催されました。関係各位のご協力のもと会員100名を超える参加となり、今年度の活動方針など満場一致で承認されました。東京開催にあたり、特に関東支部の皆様には参加動員や会場の打合せ準備、二次会の企画など、多大なるご尽力を頂き成功を収めることができ誠にありがとうございました。

また本号にて紹介がある通り、10月11日(金)には仙台高専の高専制度創設50周年記念式典が江陽グランドホテルにて開催されます。松韻会としては、創設70年、電波同窓会55年の一つの節目(通過点)であり、母校の将来に向けた取り組みに協力して参りたいと思っております。高専同窓会でも少しではありますが協力を支出してまいります。式典では松韻会の皆様にも参加して頂けるよう記念講演や祝賀会を企画しているようですので一緒に盛り上げていきましょう。松韻会の直接の活動ではありませんが、母校に関する近況を紹介いたします。6月14日(金)情報ネットワーク

松韻会総会は、開会宣言、会長挨拶のあと、議長に電波通信学科6期の関孝則氏が選任され、事務局から「平成24年度事業報告」、「平成24年度決算報告・監査報告」について報告が行われました。決議事項としては、学生活動、高専制度50周年記念事業への協力をを行うといった「平成25年度事業計画(案)及び平成25年度予算書(案)」について決議案が出され、活発な意見、質疑応答の後、満場一致で承認されました。また、奥村事務局長から、同窓生と学校のネットワーク連携について状況報告がありました。引き続き開催された、関東支部総会においては、「平成24年度事業報告

宮城高専と仙台電波高専が高度化統合されて仙台高専が設立され、今年で4年目ですが、宮城高専設立50年、仙台電波高専設立40年、その前身の東北無線電信講習所創設70年となることから、高専

工学科の学生39名の校外研修を東北放送(当社)が受け入れました。内容は放送設備の概要についての講義と見学で「放送の仕組み」を理解して頂きました。きちんと挨拶のできる素晴らしい学生で、良き伝統が守られていることをうれしく思った次第です。又、毎年受け入れている仙台高専(広瀬、名取両キャンパス)のインターシップも8月5日から8月9日の間で実施しました。最後に祈念致しましたが、会員皆様のご健勝とご活躍を祈念致しまして、そして今後益々の同窓会活動にご理解とご協力を頂けるようお願い申し上げます。



告「役員改選案」について決議案が出され、満場一致で承認されました。

## 高専制度創設50周年を迎えて

平成25年5月23日(木)に高専制度創設50周年記念事業の一つとして「高専制度創設50周年記念・仙台高専シンポジウム」が仙台サンプラザホールにおいて、仙台高専全学生を対象として開催されました。シンポジウムではまず、『南極から夢見る果ての宇宙ーものづくりと天文学ー』と題して、東北大学大学院理学研究科の市川隆教授から記念講演が行われました。続いて、地域支援企業みんなの大川倶楽部株式会社代表・前仙台高専同窓会会長佐々木勇氏、元宮城高専校長四ツ柳隆夫氏、仙台高専参与・前仙台高専後援会会長阿部清人氏、(株)ジーイーエス代表取締役社長・仙台高専産学連携振興会副会長長湯澤哲雄氏、専攻科学生2名の、仙台高専ゆかりの方々バネリス



トとなり、『仙台高専の将来展望』と題してバネリスカッションが行われました。バネリスカッションでは、懐かしい思い出やエピソードが語られ、高専の将来への展望や抱負、課題などについて、活発な議論がなされました。

## 仙台高専シンポジウムが開催されました!

制度創設50周年として記念行事を挙げることに致しました。高専の50年を振り返ると、当初は経済成長と科学技術の発展に寄与できる中堅技術者の育成を目的として設立されましたがオイルショックを乗り越切り、バブル崩壊後から社会が大きく変化していく中で、高専に対する期待や要望も変化してきました。創造的・実践的技術者の育成に重点が置かれるようになり、より高度な幅広い能力を涵養するため1991年に専攻科制度が創設されました。これに伴い、学位授与機構から学士の称号が授与されることになり、名実共に高等教育機関としての体制が整えられていきました。さらに、2001年にプログラム認定が開始されたことに対し高専は積極的に取り組み、中でも宮城高専と仙台電波高専は2002年に東北の大学や全国の高専の中で最初の認定校に指定されました。これにより、高等教育機関として国際的に認めら

れなかった問題が、次第に解消されることになりました。その後、大学等の高等教育機関に法人化の波が押し寄せ、高専も2004年に全国55高専が国立高専専門学校機構の下に一法人化されました。その目標は創造的な人材の育成、高等教育の水準の向上などです。高度化を目指した典型例として、仙台、富山、香川、熊本の高専の高度化再編が行われ、4つのスーパー高専が誕生しました。その目的は専攻科の拡充や共同利用型センターの設置などによる、高度化と地域社会のニーズへの対応、および広域連携の牽引などです。仙台高専は今後、これまで以上に優れた人材を育成するために、基礎学力とその実践的応用力、責任感と人間力、そして国際性の養成を強化した教育を推進します。今後大きく変化すると考えられる産業界に対応できる幅広い学力と柔軟な思考力を養うことも重要です。50年後も仙台高専が重要な位置と意義を保ち、さらにはそれを発展させるよう努めていきたいと思います。同窓会の方々は、今後ともご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

- ### 高専制度創設50周年記念講演・祝賀会について
- 10月11日(金)に「高専制度創設50周年記念講演・祝賀会」が開催されます。参加をご希望の方で、まだ学校へご連絡をされていない方は、10月4日(金)までに、仙台高専総務課総務係 (TEL: 022-391-5508 e-Mail: home@sendai-nct.ac.jp) までご連絡をお願いします。
- #### I 記念講演
- 趣旨・目的  
高専制度創設50周年及び旧宮城高専創設50周年、旧仙台電波高専創設40周年、仙台高等専門学校創設70周年の歴史を振り返るとともに、仙台高専の将来への発展へと繋げることを目的とする。
  - テーマ  
「仙台高専」その輝かしい軌跡と将来への更なる飛躍
  - 日時  
平成25年10月11日(金) 15時30分~17時
  - 場所  
江陽グランドホテル5階「鳳凰の間」(住所: 仙台市青葉区本町2丁目3-1)
  - 講師  
四ツ柳 隆夫氏  
(第7代宮城工業高等専門学校長、元高専機構理事・顧問)
- #### II 祝賀会
- 趣旨・目的  
仙台高専にゆかりのある方々(卒業生・修了生、後援会、高専機構関係者、教職員等)で祝福するとともに、懇親を深め、将来に向けて、連携の強化及び発展を祈念することを目的とする。
  - テーマ  
「仙台高専」連携の強化を相互の発展へ
  - 日時  
平成25年10月11日(金) 記念講演終了後~19時
  - 場所  
江陽グランドホテル5階「鳳凰の間」(住所: 仙台市青葉区本町2丁目3-1)
  - 会費 6千円

# 関東支部だより

関東支部幹事  
阿部 恒一  
(情報工学科1期)

梅雨に入って間もない6月8日(土)に東京プリンスにて、「仙台高専同窓会」としての総会ならびに「松韻会」「松韻会関東支部」総会、宮城高専同窓会である「秋朋会」との合同懇親会が開催されました。

仙台高専同窓会総会では、内田校長や来賓の方々より「全国で高専の統合が進んでいるが、同窓会の統合に成功しているのは仙台高専だけであり素晴らしいことである」との話をいただきました。

合同懇親会では20歳代から80歳代までの総勢150名ほど(うち松韻会は100名強)の参加者が一堂に会しました。

合同懇親会では新しい校歌が披露されました。当初はCDを流す予定でしたが、秋朋会に歌手の方がおられるということでその方にアカペラで歌っていただきました。

# 海洋部OB会 盛会の報告

海の怒りがおさまったかに見える平成25年6月2日、初夏の風香る磐梯高原に、海洋部員24名が集いました。

今回は、当OB会会長の15期鎌田定継兄がリハビリ治療中でいまだ回復しないため、16期吉野新平兄の指揮のもと、12期立川公一兄を筆頭に本科24期(高専1期)までが集結し、お互いの無事をたたえ合い、多くの友等の消息を確認しながら、同志の絆を強くしました。

24期布袋君の軽妙な司会に乗せられて、各



また今回は、「部旗」が復刻され、旗標よろしく、その所在を明かすことができるようになりましたこともご報告しておきます(写真参照)。それでは諸兄方々のご健康をお祈りし、帆船日本丸の登壇礼(トウショウレイ)のご挨拶で、ゴックンゲンヨオオオ。代表 鎌田定継・代筆本科17期 佐藤良吉)

また恒例ではありませんが、余興として松韻会は無線放浪歌を秋朋会には旧宮城高専校歌を歌い、最後に一緒に記念写真を撮り大いに盛り上がりました。

今回の総会の成功にあたり、ご参加いただいた皆様のご協力ならびに本部・松韻会関東支部幹事・秋朋会幹事の皆さんのご尽力に本誌面をお借りしまして感謝申し上げます。

# 東北支部だより

東北支部長 三方 雅仁  
(電子工学科3期)

皆さん、こんにちは。去る5月16日の東北支部役員会にて東北支部長を拝命しました。電子工学科3期卒の三方雅仁でございます。初代支部長の庄子先輩、そして、前支部長の出貝さんの後を引き継ぎ、東北支部も無事第三期目を迎えることができました。これも、会員各位のご協力によるものと御礼申し上げます。また、歴代の支部長

自の近況を、わずかの時間ながら自らの言葉で話すことができたが、語り様は千差万別、いずれも年齢を感じさせないものでした。特に宴会皮切りに、吉野兄の「津軽三味線」に15期倉島陽兄の歌謡曲が披露され、大爆笑と大喝采で大いに盛り上がりました。

また今回は、「部旗」が復刻され、旗標よろしく、その所在を明かすことができるようになりましたこともご報告しておきます(写真参照)。それでは諸兄方々のご健康をお祈りし、帆船日本丸の登壇礼(トウショウレイ)のご挨拶で、ゴックンゲンヨオオオ。代表 鎌田定継・代筆本科17期 佐藤良吉)

役員の方々、支部運営ご苦労様でした、ありがとございます。

さて、今期の東北支部の事業計画ですが、9月7日(土)、8日(日)のSUGOエコーランを初めに、高専ロボコン、E.Tロボコンの支援を昨年度同様計画致しております。

さらに、今年は高専制度50周年の年でございます。松韻会本部と連携しながら母校の記念事業への協力を計画致しております。

次に、現在検討中ではございますが、東日本大震災以降途絶えておりました「在仙交流会」を東北支部の事業として何とか復活させたいと考えております。これは会員各位のご協力とご支援なしには成り立ちません。皆さん、宜しくお願い申し上げます。



三方支部長から大泉先生へ (エコラン支援)

# 『五期会』だより!

五期会事務局  
千葉 定一

一、全体  
平成25年春の叙勲で、五期の岩淵鐵雄(78歳)氏が瑞宝小綬章の栄に浴し、皇居にて天皇陛下に拝謁を賜りました。(参考経歴) 元日本電電公社施設局管理課長

- 一、在仙関係  
①恒例の観桜会 4月20日  
参加者10名(薫科先生含む)  
平成15年4月19日以来11回目  
②第一回コンペ 5月29日  
表蔵王国際GC 8名参加  
遠方(八王子)から参加の水戸昭君が初優勝  
③計報

# 北海道支部だより

北海道支部長 根本 孝一  
(専攻科17期)

皆様お変わりございませんか。北海道支部の今年の活動状況についてお知らせいたします。

- ・5月 支部総会開催  
25年度の活動方針等について承認

# 2003年卒同窓会を 開催!

大江 陽二郎  
(電子制御工学科14期)

2013年7月13日の夕方より2003年卒業生による同窓会を開催しました。卒業して10年という節目ということもあり、参加人数にも期待をしておりましたが、目標としていた人数を大いに上回る56名が仙台の国分町に集まりました。混合学級の走りということもあり、RECと学科の枠も無くみんなが入り乱れて話が弾んでいたように見受けられました。準備は大変でしたが、やれてよかったです。1度行くとまたやりたくなるもので、次回計画もゆっくりと考えていきたいところです。



丹野次郎死亡(6月9日)  
通夜弔問者9名  
葬儀参列者11名

④第二回コンペ 8月5日  
おさとGC 9名参加  
優勝 只楚久夫(避暑先の鬼首の別荘からかけつけ)

⑤今後の予定  
・暑気払い 8月28日  
秋保 ホテルきよ水  
・第三回コンペ 8月29日  
マグノリアGC

・「喜寿祝」祝賀会 11月5日  
いわき ハワイアンズ  
※福島県で幾らかでも産品を消費し、震災の風化防止に貢献! 詳細は別途

・第四回コンペ 11月6日  
クレストヒルズGC

三、関東以西会  
※喜寿祝に参加のため中止

されました。また総会席上「仙台電波校跡地に記念の碑を建てるよう本部に提案してはどうか」との意見提起があり全員一致で本部へ提案することになりました。総会に引き続き懇親会を開催。初参加された紋別市の米野会員の経験談等で大いに盛り上がりました。

・6月 松韻会総会に支部長参加  
高専制度創設50周年記念事業への協力等について審議了承

・7月 山田峰郎幹事ご栄転  
7月 支部報、会員便り発行  
9月 支部活動状況はもろんのこと会員情報等を支部会員全員にお届け

11月 支部懇親会の開催  
これまでの参加経験者には個別にご案内いたします。初参加の方大歓迎です。ご連絡いただければ幸いです。  
(090-6697-7800)根本定一

# 活動状況報告

# ホームぺージ 充実委員会

ホームぺージ充実委員会の活動状況(その2)について報告します。この会報が届く頃にはリニューアルが間に合うよう鋭意作成中です。(間に合わなかった際にはご容赦願います。)

さて、リニューアルしたホームページでは、会員の皆さまからの広告掲載するページを設けました。広告掲載により、会員相互の情報交換などにより同窓会活動の充実につながれば幸いです。

また、広告収入による新たな財源を確保することで、ホームページの運用も安定したものにしていきたいと考えております。

今年度は試行運用として無料での掲載を予定しています。広告掲載を希望の方は、まずはリニューアルされたホームページをご確認の上で事務局までお問い合わせ願います。

なお、引き続きホームページのメンテナンスが得意な方を募集していますのでご協力をお願いいたします。

松韻会ホームページ  
<http://snct-dosokai.jp/>



# サッカー部OB会

皆さん、こんにちは。電波通信学科6期サッカー部OB会長の伊藤栄喜です。今年も毎年恒例のサッカー部OB会を5月4日仙台高専広瀬キャンパスにおいて開催しましたのでご報告いたします。

サッカー部OB会は約30年前から毎年行っており、その中でも今年のOB会には、サッカー部が昨年度東北高専大会において創部40年目にしてやっと『優勝』という栄冠をつかむことが出来、また大学リーグでの準優勝、高校選手権での県大会出場という快挙を祝ってのOB会となりました。

サッカー部はこれまでも決して弱小クラブではないと自負していましたが、高専大会での『優勝』の2文字にだけは縁がなく、歴代のOBは永年悔しい思いが続けてきました。それをわが後輩たちが見事その雪辱を晴らしてくれ、OB一同やっと胸のつかえが取れたような思いでした。山口県での全国大会出場時にはOB会から新しいユニフォームと横断幕を贈呈し、心からの祝福の気持ちを伝えました。また何よりうれしかったことは、永年サッカー部顧問としてご指導頂いた薫科先生が、ご定年前年の在職中に優勝してくれたことです。

薫科先生は故佐藤勉先生の後を継いで、永年にわたりサッカー部の顧問としてサッカー部部長に就いて公的に渡り温かくご指導頂きましたが、薫科先生もまた悔しい思いを続けてこられたので、優勝の味を噛みしめて頂けたことで、少しでもこれまでもご苦労に報いることが出来たのではないかと思います。



今年OB会には、電波高専1期生の小林哲さん、榎本さん初め、例年にも増して多くのOBの皆さんにご参加頂きました。皆さん日頃の運動不足のせいで、思い通りのプレーは出来ないうちが、1回の現役とのOB戦を楽しみました。またもちろん

夜の懇親会では当日のプレーの反省(言い訳?)や、毎年何度も聞いている学生時代の武勇伝や色々な伝説などで盛り上がりました。今後サッカー部が高専大会での優勝を続けられるよう、またサッカー部OBの皆さんが元気に毎年OB会に参加して頂ける事を祈念致します。

## プロコン本選に向けて

プログラミング愛好会会長、情報システム工学科3年の千坂優佑です。今年も昨年に引き続きプロコンに出場することになりました。

今年プロコン予選には、競技・課題・自由部門の3部門にそれぞれ1チームずつ、計3チームが応募し、うち競技・自由部門に応募した2チームが予選を通過しました。自由部門では『災害対策ツール「Direct」』を作品として制作します。プロコン審査委員からは「今日的な問題に対応しており、興味を持つ人が多いと思われる」などの高い評価を頂きました。

競技部門では、今年サイコロを使って通信を行います。昨年は機器の不調により敗退という残念な結果に終わってしまったため、今年より万全に準備して臨みます。

10月に旭川市で行われるプロコン本選に向けて、今年より高い順位や賞を得られるよう健闘していきます。



# 高専祭開催!!

10月26日・27日

今年度も10月に開催される仙台高専広瀬キャンパス「高専祭」。今年、例年より一週間遅く26日、27日の開催となります。今年度も、多くの有志団体が出店を希望しており、例年に負けないう活気のある高専祭となると思います。

高専祭実行委員会は、年度始めから実行委員会を開いて、10月の高専祭に向けて準備しています。今年、幹部の半数以上が実行委員会1年目ということと、いろいろと試行錯誤しながらの準備となっています。しかし、幹部一同例年に負けぬ高専祭にしようと頑張っています。

また、今年高専制度創設50周年記念の年であり、高専祭実行委員会としても新しい試みを企画しており、地域貢献や高専祭を盛り上げる一役を担いたいと思っております。

残念ながら過去2年間は、高専祭期間中天候に恵まれぬ日もありました。そのため、今年の高専祭は快晴のもと開催できればと願っております。

高専祭を無事開催するために委員一同全力で準備しますので、学生・保護者のみならずご協力をお願いいたします。同窓会の皆様におかれましては、是非高専祭にご参加いただき、学生時代を懐かしむと共に、高専祭を楽しんでいただければ幸いです。

# 絆づくり田んぼアート



6月1日(土)に母校近くの錦が丘団地入り口の水田で、「絆づくり田んぼアート」の田植えが行われました。

この「絆づくり田んぼアート」は、宮城地区の地域資源である「田んぼ」を活用して、地域みんなの力で田んぼアートを実現させ、住民相互の絆を深めるとともに地域づくりを進めるといもので、田植えには仙台市内各地の子供から大人まで総勢150名程が参加し、母校の学生も参加しました。

その後、稲は健やかに成長し、田んぼには綺麗に「むすび丸」の姿が浮かび上がりました。

# 仙台高専広瀬キャンパス吹奏楽部定期演奏会

11月3日

仙台大専広瀬キャンパス吹奏楽部部長 中島 誠

いよいよ秋も本番となり、皆様ますますご健勝のことと存じます。日頃からいろいろとお世話になり、心からお礼申し上げます。

さて、来る11月3日(日)14時から広瀬文化センターにて第4回定期演奏会を開催いたします。現役部員に加え、OB・OGの皆様と一緒に総勢35名での迫力ある演奏会です。

天体観測、銀河鉄道56、スターウォーズのテーマ、テイクファイブ、千と千尋の神隠しなど、吹奏楽定番曲から往年の名曲、現代のポップスまで幅広くご用意しております。

また、初めての試みとして、吹奏楽部付属合唱部も1ステージを担当し、今までのない構成の演奏会になりますので、どうぞご期待ください。

入場無料ですので、皆様御誘いの上お運びいただけますと幸いです。

# NHK高専ロボコン2013 出場チーム作業報告

今年のテーマは「Shall We Jump?」で、ロボットと人間が力を合わせて大縄跳びを行う競技です。今年も学生たちは夏休み返上でロボット製作に取り組んでいます。例年、本紙では参加報告をお伝えしていますが、今年は開催前の意気込みを各チームのリーダーに書いてもらいました。

■Aチームリーダー…及川右貴 (知能エレクトロニクス工学科3年) 今年の課題は今までで最も難しいと考えています。だからこそ私はあえて今年はチャンスの年だと思っております。難題に挑むことの価値は非常に高い。それを若いうちから経験できるのは本当に幸福なことです。このような体験ができるのはOBの皆様を含め沢山の方々のおかげだと日々感謝しつつ、全国に進めるよう身を粉にして頑張りたいと思います。

# オープンキャンパスが開催されました!

7月26日(金)、27日(土)の2日間にわたり、母校にて平成25年度オープンキャンパスが開催されました。2日間で707名の中学生や保護者等の方々が来校し、各学科のブースやロボコンの展示などを興味深く見学されていました。同窓生も何名か来校され、在学時と現在の違いに驚かれていました。

※オープンキャンパス当日の様子が、CAT-V NetTV内のユニ・カレチャンネルにおいて紹介されています。23年度、24年度の様子も視聴可能ですので、ご覧になってください。  
[http://cat-vnet.tv/movie/uni\\_college/sendai-nct.html](http://cat-vnet.tv/movie/uni_college/sendai-nct.html)



■Bチームリーダー…篠田伊吹 (知能エレクトロニクス工学科4年) 昨年度大会では、他高専にはない独自のシステムを作ったことが評価され、特別賞を頂くことが出来ました。しかし、課題は違えど様々な面で課題の残る結果であったことも事実です。今年には昨年に比べてメンバーの数が格段に少ないですが、最高のパフォーマンスをできるように、開発・改良に務めていきたいと思っております。

今年東北地区大会は10月13日に一関市総合体育館で行われますので、応援をよろしくお願いします。

### 通信欄だより

総会返信はつき通信欄を使用した通信欄だよりですが、今回もたくさんの方に記入いただき、誠に有難うございました。いただいた近況短信のうち、紙面の都合上一部ではありますが掲載させていただきます。なお、達筆の方が多く、意図した内容と異なる場合もあるかもしれません、どうぞご容赦ください。これからも投稿お待ちしております。

#### ★本科10期 村上 勝臣

平成25年10月21日、22日、本科10期クラス会の幹事で準備中。何しろ還暦から毎年開催しています。今回幹事のお鉢がまわって来た次第です。毎年25名前後です。今年は遠州温泉「さんさ亭」。今年の松韻会総会に誰か出席する皆ですので、報告が楽しみです。

#### ★特科5期 長浜 孝

日々一万歩歩行を目標にして、元気に過ごしております。

#### ★専攻科11期 齋藤 孝雄

記録的な大雪の弘前地方の遅い春がやと春らしい日々になりました。猫の顔ほどの我が家の庭にキジが13個の卵を産みましたが、カラス、猫など気になります。無事にかえってほしいと思っています。

#### ★旧職員 宮城 篤

昭和60年4月から平成13年3月まで常勤の英語教師として、4月から非常勤講師として平成16年3月まで勤めさせていただきました。授業とは別にクラブ顧問として応援団(実はクラブではありませんが)に関わって東北各高専をドサマわりをし、学生と一緒に楽しく過ごしたことが、後年はギター部に関わって、仙台の中央部のコンサート会場でクラブの学生達と一緒に騒ぎまわったことが昨日のことのように思い出してはウキウキしています。

に頭に浮かんでまいります。今、後期高齢者となり、身体が思うように動かない状態でも、当時に思い出してはウキウキしています。

#### ★専攻科2期 高橋 貞夫

元気にしております。80歳になりました。

#### ★匿名希望

男性平均寿命をすでに4年過ぎておりますが、ますます元気です。近々多賀城ホールで我が尺八宗家100周年大会に参加します。

#### ★旧職員 近江 みや

9月で92歳です。まあ元気です。

#### ★専攻科4期 菊地 司

一昨年の東日本大震災後、久しぶりの同期会を去る4月19日に開催。遠方からは、横須賀から前回に引き続き千葉幸七さんが元気な姿をみせ、仙台市内在住の9名と計10名で、震災以来の元気な顔で近況を語りあいました。大震災では、宮古在住の大越さんが津波に会い、体調を崩しているという情報が入っています。早いご回復を祈ります。

#### ★旧職員 小林 秀夫

私は昭和56年から59年に仙台電波高専の学生課課長として勤務させていただいた者です。この間、東北地区の高専体育大会を主管させていただき、また、前勤務大学の東京芸術大学の邦楽科の教員、学生による演奏会を開催させていただきました。事、なつかしく思い出しております。現在、満82歳になりましたが、未だに武蔵野音楽大学の嘱託として週2日勤務しております。

#### ★本科8期 皆川 恒夫

4月7日、神奈川県在住の伊藤さんと在県の峯岸さん、小平さん、そして私の4人で、松島一の坊で久しぶりに再会し、楽しい一夜を過ごしました。

#### ★特科5期 笹原 正作

引き続き、行政書士業と宅建業の両業で頑張っております。通信士として30年、下船後は現業で34年頑張りました。あと何年やれるか最後まで頑張ります。

#### ★旧職員 中川 一郎

最近、脚、腰が弱くなってきました。

#### ★専攻科9期 郡山 勝視

アマチュア無線JAF6FLで頑張っております。妻はJAF6FLです。

#### ★旧職員 伏見 清和

年齢相応に元気にしています。

#### ★本科10期 山中 晃

ヨガ教室で健康維持に努力中です。

#### ★本科9期 小松 剛

沖縄県在住88歳の同窓生がお知らせしたら、ご連絡ください。(編集注：事務局までご連絡いただければ連絡先をお伝えいたします。)

#### ★本科14期 桜井 勇一

松類や桜など花物の盆栽いじりで暇つぶしをしています。最近山あじさいの鉢植えにこっています。健康のため、月に1、2回ゴルフを楽しんでいます。

#### ★専攻科6期 田中 富夫

電波高校本科・専攻科6期総会/旅行会も昨年15回を終え、26年度の16回喜寿(七十七歳)総会を以って最終を迎える事となりました。夫婦参加が正式で、海外総会も2度行い、素晴らしい同期会の有終の美を飾ります。

#### ★専攻科15期 倉島 陽

毎日が飛ぶように過ぎていきます。

#### ★本科12期 門脇 康郎

私が現役、そして東海テレビ放送退職後も35年間問答を追いつけた「名張毒ぶどう酒事件」が

映画「約束」として、今月18日(土)からフォーラム仙台で上映されます。当日は樹木希林さんと二人で舞台挨拶をします。上映は5月31日までです。尚、原作本が岩波書店から「死刑囚の半世紀」と題し発売されました。合わせてご連絡します。(編集注：5月にいただきました。現在上映中の県もあるようです。)

#### ★第2別科9期 柳 忠男

元気で過ごしております。芸能活動、ボランティア等、幅広くやっております。

#### ★本科13期 辻 清彰

北海道支部懇親会に昨年から参加しています。楽しいですよ。北海道岩見沢市から仙台市にあ

る電波高校へ：更に北海道内を転々としました。今は札幌市住民です。

#### ★特科8期 佐藤 乙彦

会報を送って下さるたびに昔の仙台中江の寮生活が思い出され、懐かしさその当時を振り返ります。

#### ★特科5期 山口 正雄

心筋症で時々息切れするので安静にしています。至って元気です。同年齢その他の方の計報に接する度に昭和初期も遠くになったと感じています。

#### ★第2別科14期 今野 敏明

まだ……元気にガンバっていますヨ!

平成25年度 松韻会予算書

収入	5,340,000 円	支出	5,340,000 円
収入の部			
前年度繰越金	1,872,524	前年度繰越金	1,369,821
会費	2,600,000	第23年秋会費	2,713,000
寄付金	10,000	70,000	
入会金	292,000	292,000	
預金利息	176	263	
地域活動費	300,000	900,000	
補助活動費	265,300	263,620	
雑収入	0	9,929	
合計	5,340,000	5,579,629	
支出の部			
会費徴収金	100,000	100,000	
印刷費	1,100,000	1,032,797	
集公費	500,000	239,069	
通信費	900,000	739,484	
事務費	700,000	466,881	
HP実費	100,000	62,834	
慶弔費	100,000	37,049	
学生活動奨励費	400,000	318,020	
支部活動費	600,000	600,000	
同窓会活動奨励費	150,000	71,500	
千歳費	600,000	0	
合計	5,340,000	3,707,105	

平成24年度 松韻会決算書

収入総額	5,579,629 円	支出総額	3,707,105 円	余剰額	1,872,524 円
収入の内訳					
前年度繰越金	1,369,821	前年度繰越金	1,369,821	前年度繰越金	増1,814,916
会費	2,600,000	第23年秋会費	2,713,000	第23年秋会費	増1,419,616
寄付金	10,000	70,000		日本郵政振替(5万) 竹内誠氏 贈	
入会金	292,000	292,000		平成24年度新入生 133名	
預金利息	176	263		七十七(仙台)イーゼル銀行	
地域活動費	300,000	900,000		仙台高等同窓会より 寄附金(36,297円)	
補助活動費	265,300	263,620		自動販売機収益金	
雑収入	0	9,929		第23年秋会費(22年度入会金) 贈	
合計	5,113,006	5,579,629			
支出の内訳					
会費徴収金	100,000	100,000		定期預金	
印刷費	1,100,000	1,032,797		第15分科編会費、討議、報費用紙、他	
集公費	500,000	239,069		東京総会、役員会、委員会費内、他	
通信費	900,000	739,484		会報、総会、役員会、委員会費内、他	
事務費	700,000	466,881		報費、名簿印刷費、別名簿費処理、他	
HP実費	100,000	62,834		ホームページ活性化調査費、レンタルサーバ費	
慶弔費	100,000	37,049		祝電、弔電、弔金	
学生活動奨励費	400,000	318,020		高等科、コッパン、ホームセンター	
支部活動費	600,000	600,000		東北支部の方(東北)北海道(10万)支部活動費	
同窓会活動奨励費	150,000	71,500		同窓会への補助	
千歳費	600,000	0			
合計	5,116,000	3,717,104			

## 会員 訃 報

- 講習科1期 加藤 博氏
- 特科6期 工藤 良治氏
- 特科7期 福岡 郁守氏
- 特科8期 大森 政規氏
- 旧本科1期 後藤 謙二氏
- 旧本科1期 鈴木 清氏
- 旧本科1期 五十嵐 巳代治氏
- 本科1期 石黒 勲氏
- 本科1期 鈴木 喜介氏
- 本科1期 高橋 哲郎氏
- 本科4期 早坂 文雄氏
- 本科8期 宮本 征一氏
- 本科9期 塩沼 守氏
- 本科15期 山田 彦氏
- 本科17期 小山 信夫氏
- 専攻科3期 中井 新吉氏
- 専攻科5期 丹野 次郎氏
- 専攻科6期 森 幹夫氏
- 専攻科8期 岡部 弥彦氏
- 専攻科12期 吉田 泰夫氏
- 専攻科15期 満田 進三氏
- 第1別科1期 須山 重男氏
- 第1別科2期 齊藤 達男氏
- 第1別科4期 伊藤 宏氏
- 第2別科1期 槍田 明氏
- 第2別科4期 池田 光男氏
- 第2別科4期 高橋 博敏氏

## 編集 後 記

先日、高専同級生との懇親会に参加する機会がありました。紐解かれた懐かしい思い出が、次から次へと飛び出し、久しぶりに腹の底から笑うことができました。

『人は、懐かしいことを思い出すと、幸せな気分になれる。』との法則(?)を耳にした事があります。

同じ時間を共有した学生生活や、そこで得た人脈は、同窓生の皆様それぞれにとつての『幸せの宝箱』なのかもしれません。

最後に、本紙発行にあたりご執筆頂きました皆様方に、編集委員一同、心より感謝申し上げます。(齋藤)